

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部
放射線診断学講座
研究責任者： 教授 掛田伸吾

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 側頭骨領域におけるフォトンカウンティング CT と従来 CT の画像研究

研究の目的

近年、CT 技術の革新的な進歩により、フォトンカウンティング検出器 CT (PCD-CT) が臨床導入されています。側頭骨や中耳の検査では、従来の標準的な CT (EID-CT) では耳小骨や顔面神経管などの微細な骨構造の描出が困難な場合があり、診断や手術前の評価に苦慮する場合があります。

現在日常診療で撮像された PCD-CT 画像と従来型 EID-CT 画像を比較検討することで、これまで評価が困難であった微細な骨破壊を明らかにし、より正確な術前診断と適切な手術計画につなげることを目的としています。

本研究は、日常診療で撮像された CT 画像および診療記録を使用する後ろ向き研究です。研究への参加を希望されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。お申し出があった場合、あなたのデータは研究に使用いたしません。なお、研究への参加・不参加によって、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

研究実施期間 実施許可日～2028 年 3 月 31 日

対象となる方 2015 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日に、日常の診療で側頭骨領域の病変が疑われる、または手術やその他の治療効果判定・経過観察目的で側頭骨 CT が撮像された方、撮像予定されている方となります。合計で 60 例を検討する予定です。

利用させていただきたい試料・情報について

側頭骨 CT 撮像患者について、撮像された CT 画像 (EID-CT 画像および PCD-CT 画像) に加えて、検査被曝量や MRI 画像、当院のカルテ記載のある年齢、性別、既往歴、手術術式、術中所見の情報を得ます。

外部への試料・情報の提供

外部への資料・情報の提供はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既

に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、
ご了承ください。

本件連絡先	研究者連絡先： 弘前大学医学部附属病院放射線診断科 病院助手興石泰樹 〒036-8563 青森県弘前市在府町 5 電話：0172-39-5103（平日 9:00～17:00）
--------------	---